

2006 年度

科目名 幼児教育学Ⅱ （指導法を含む）	対象学科、学年 文学部教福 2 回生 教育教福 2 回生	担当者 岩田 良子
授業テーマ これからの幼児教育を考える。		
授業の概要と目標 最近の学校や施設、親と子、家庭をめぐるさまざまな問題を踏まえ、保育・教育の原点に立ち返り、幼児教育を総合的、体系的に学習する。保育の計画と方法について、できるだけ多くの実践例を紹介し、保育の具体的なイメージを培いつつ、実践の場に立てるように学んでいく。		
評価方法 学期末にレポート提出。 また、毎時の授業においてコミュニケーションカードまたは、ミニレポートを提出してもらい、授業内容の理解度や授業の適切さを確認する。出席の回数も評価に加味する。		
テキスト 保育・教育ネオシリーズ 第3巻 保育の計画と方法	編集者 小笠原 圭・植田 明	出版社 同文書院
参考書 保育・教育ネオシリーズ 第1巻 幼児教育の原理	編集者 岸井 勇雄	出版社 同文書院
授業スケジュール・内容 1. オリエンテーションと幼児教育の基本 人間形成と幼児教育について 2. 新しい時代を拓く幼児教育 保育観の移り変わり、および保育における計画の意義と必要性 3. 保育の計画と方法の原理 保育における計画・方法に求められる新しい視点 4. 幼稚園・保育所における保育の計画 教育課程と保育計画、指導計画 5. 長期指導計画の実際 長期指導計画の種類と作成のポイント 6. 短期指導計画の実際（1） 短期指導計画の種類と作成のポイント 7. 短期指導計画の実際（2） 短期指導計画作成の実際 8. 乳幼児における保育方法の基本 発達特性・乳幼児理解に基づく保育者の役割 9. 環境を通して行う教育 幼児期の教育における環境。計画的な環境の構成と再構成 10. 遊びと総合的な指導 乳幼児期における遊び。遊びを通して行う総合的な指導 11. 乳幼児にふさわしい生活と指導 乳幼児期にふさわしい生活と指導の内容 12. とともに育ち合う保育の視点と方法（1） 友達やまわりの人々との出会い。障害のある友達とともに 13. とともに育ち合う保育の視点と方法（2） 地域・家庭・異校種との連携の中で 14. よりよい保育に向かう反省・評価 保育における評価の考え方。保育の記録を生かす 15. まとめ		